

する。水路上の駐輪場は有料化するべきではないと考える。市民の目線に立った上で、水路上だけでも駐輪場を無料にできないか。

**答** 利用者が限られた特定のサービスであるため、近隣市他の駅と同様、民間事業者を活用し、市税等は今後需要増が見込まれる福祉事業やインフラの整備に充当したい。

**問** 受益者負担をそれほど強調するならば、公共と民間の境目はどのように考えているのか。

**答** 今後40年間で公共施設の維持等に約2500億円という膨大な金額が必要であることから、民間でできることは民間に担ってもらおう。それが基本的な考えである。

〔その他の主な質問〕  
○西新町の雨水対策について  
○いじめ対策について

**教 育**

**少人数学級編制事業  
及び小学校英語活動  
事業の成果は**

**小林 友明**  
(新政策研究会)

**問** 本市では教育特区の認定

を受けて、平成16年度から毎年関係経費約1億2千万円の子算で少人数学級編制を、そして平成17年度から同様に毎年約5千万円の子算で小学校英語活動をそれぞれ継続実施して現在に至っているが、教育委員会では多額の経費拠出を伴う本事業の成果をどのように捉えているのか。



英語授業の様子

**答** 少人数学級編制により、落ち着いた雰囲気での学習できるようなった。いろいろなことにチャレンジするようになった。との保護者の声や、教職員からは「子どもたちが集中して学習に取り組めるようになった」。体験的活動では一人一人の活動量が増えた。など、子どもたちへのきめ細やかな対応で高い成果を挙げているものと認識する。

小学校英語活動では、効果

の検証で全児童の85%が「英語活動の時間が楽しみ」と答えており、また全国学力・学習状況調査における英語コミュニケーション能力の設問で県平均を大幅に超え、さらに修学旅行先等で外国人に積極的に英語でのあいさつや質問するなど成果と捉えている。

〔その他の主な質問〕  
○都市計画マスタープラン

**教 育**  
**児童・生徒の  
体力向上  
と食育指導**

**加藤 誠一**  
(黎明21)

**問** 「体力の向上」は「確かな学力」とともに教育の両輪であるが、本市の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果は、県や全国と比較してどうか。

**答** 埼玉県は全国で小学校男子7位、女子3位と上位にあり、本市は県の中間なため、全国では上位にある。

**問** 体力向上の取り組みは。

**答** 小学校では体育のほか全校で朝マラソン、縄跳びが行われ、中学校では保健体育や

運動部活により体力向上を図っている。教育委員会は、体力向上推進委員会を組織し実践研修会等を行っている。

●食育の取り組み

**問** 少子・高齢化やファストフードの普及等により、食育の重要性が再認識されているが、食育指導はどうか。

**答** 家庭科、体育・保健体育の授業では、健康や食事を管理する能力を高める学習を、給食の時間では、食事マナーや食生活指導等を行っている。

**問** 行田産農産物や郷土食への理解促進は図られているか。

**答** 家庭科の授業等でゼリーフライを作ったり、行田在来青大豆を栽培し、豆腐やパン等を作っている中学校もある。

〔その他の主な質問〕  
○スポーツ推進委員の役割

**小 学 校 統 合**  
**統合問題に  
関する現段階の  
状況について**

**吉野 修**  
(黎明21)

**問** 南河原小学校と北河原小学校の統合準備は、現在、どのような状況になっているのか。

**答** 昨年12月に開催された両地区の再編成地域委員会の合同会議で、「平成29年4月に統合、校舎は南河原小学校を使用」と決定し、これを受け、合同で協議を進めてきたが、現在、校名についての合意形成ができていない。残された時間を考えると、来年4月の統合は難しい状況である。

**問** 校名などについて意見を聞くアンケートを7月に実施し、その結果を基に委員会での協議するのではなかったのか。

**答** アンケートの実施は、委員会の協議で決めたものであり、その集計結果を委員会に報告する予定であったが、いまだに委員会での協議がなされず、統合後の校名についての合意形成ができていない。

**問** 最終的な意思決定前に、アンケート実施後の協議開始を待っている委員や地域に、どういう経緯でそこに至ったのか説明が必要ではないか。

**答** 今後、委員会へ経過を報告するなど、地域へ説明し、その上で、委員会の意見を伺い、今後の対応を検討したい。

〔その他の主な質問〕  
○みどりの基本計画の推進